

唐玄宗公讌附行幸年表

土 谷 彰 男

唐玄宗朝における公讌の状況について、その記事及び関連する作品を年表にまとめ、あわせて、玄宗行幸の状況をこれに附した。

公讌（公宴）は、宮城王府などにおいて皇帝諸王が開く詩酒宴のことであり、主に節日や任官、行幸や祖餞、また蠻族來朝などに従って行われ、「賜宴」や「酹宴」という形で見られるものである。皇帝がとくに宰相諸臣に宴を賜る「曲宴」もこれに含み、私宴とは區別する。公讌では皇帝と詞臣の間で詩歌の應酬がなされた。いわゆる「御製詩」及び「奉和聖製詩」「應制詩」がその主たる作品群をなすが、ここでは、それらを一括して公讌詩と呼ぶ。公讌詩といえば、三國魏の陳子王曹植や王粲などの「公讌詩」が想起されるが、ここでのそれは、分類上の呼稱である。

玄宗はおのれの太平盛時を謳歌すべく、また、詞臣は玄宗の御代を禮讚すべく、玄宗朝ではあまたの公讌が開かれ、夥しい數にのぼるが公讌詩が作られたと見られる。一方、公讌詩は臺閣の文學として、その措辭や詩型にある一定の規範が示され、當時の趨勢の一端を窺うに足るものである。本稿において玄宗朝の公讌を「玄宗公讌」と呼ぶ所以である。

本年表は、玄宗の治世である開元年間（先天年間を含む、712～741）、及び天寶年間（742～756）における玄宗公讌の状況を諸資料から收集整理し、現存する公讌詩の作品と関連づけを行い、その詩型を明らかにしたものである。また、玄宗による華清宮（溫泉宮）の遊幸は頻々たるを見るごとく、玄宗行幸について、それをとくに本年表に加えた。

なお、年表には、項目ごとに通し番號を付した。記事については、とくに明記がない場合、次のとおり典據を示す。

○『舊』：『舊唐書』卷8～9・玄宗本紀上下 ○『通鑑』：『資治通鑑』

○『冊府』：『冊府元龜』

また、作品について、『全唐詩』を典據とする場合、とくに書名を明記せず巻數のみ示した。また、各詩篇に對してその詩型を明らかにした。

年表作成にあたって、次の資料を參考とした。

○北宋・王祐『文苑英華』卷167～179卷 ○南宋・王應麟『玉海』卷29・
聖文・御製詩歌 ○清・秦蕙田『五禮通考』卷160・嘉禮・饗燕禮
○傅璇琮主編『唐五代文學編年史・初盛唐卷』（遼海出版社、1998年）

これとは別に、徳宗朝における公讌の状況について、筆者はすでに
「關於『詩式』與大曆貞元文學的劃分」（『唐代文學研究』第12集、廣西師範大
學出版社、2008所收）を發表し、そのなかで年表一覽を載せているので、
併せて参照されたい。

〔1〕先天元年（712）10月

記事：○先天元祀孟冬十月、東都留守韋公。蚤奉聖朝、述宣嘉旨。…凡
我詞客、安敢闕如、賦詩展事、垂列于後。（張說「東都酺宴序」）

作品：(1)張說「東都酺宴四首* 并序」（卷87） 五古（4韻）

※『張燕公集』卷5に5首を収める。そのうち「其一」（五古・10韻）は
『全唐詩』に同題異作として卷88に収める。

〔2〕先天2年（713）9月

記事：○己卯、宴王公百僚於承天門、令左右於樓下撒金錢、許中書門下
五品已上官及諸司三品已上官爭拾之、仍賜物有差。（『舊』）

〔3〕先天2年（713）10月

記事：○甲申、幸新豐之溫湯。癸卯、講武於驪山。乙巳、至自溫湯。
（『舊』）○癸卯、講武於驪山下、徵兵二十萬、旌旗連亙五十餘里。
（『通鑑』卷210・開元元年）

〔4〕開元2年（714）9～10月

記事：○九月戊申、幸新豐之溫泉。冬十月戊午、至自溫泉。（『舊』）

〔5〕開元3年（715）10～11月

記事：○十月甲子、幸縣之鳳泉湯。十一月己卯、至自鳳泉湯。乙酉、幸
新豐之溫湯。甲午、至自溫湯。（『舊』）

〔6〕開元4年（716）2月

記事：○丙辰、幸新豐之溫湯。丁卯、至自溫湯。（『舊』）

(4) 中國詩文論叢 第二十九集

- 作品：(1)蘇綰「奉和姚令公駕幸溫湯喜雪應制」(卷113) 五律
(2)蘇頲「扈從溫泉奉和姚令公喜雪」(卷73) 五律
※張九齡「和姚令公從幸溫湯喜雪」(卷48) 五律

[7] 開元 4 年 (716) 2 月

記事：○甲戌、至東都。(『冊府』卷113・帝王部・巡幸二)

[8] 開元 4 年 (716) 12 月

記事：○十二月乙卯、幸新豐之溫湯。乙丑、至自溫湯。(『舊』)

作品：(1)蘇頲「奉和姚令公溫湯舊館永懷故人盧公之作」(卷73) 五古 (8韻)

[9] 開元 5 年 (717) 1 ~ 2 月

記事：○辛亥、幸東都。二月甲戌、至自東都。(『舊』)

[10] 開元 6 年 (718) 10 ~ 11 月

記事：○丙申、車駕還京師。十一月辛卯、至自東都。丙申、親謁太廟、迴御承天門、詔「七廟元皇帝已上三祖枝孫有失官序者、各與一人五品京官…」。賜文武官有差。(『舊』)

[11] 開元 7 年 (719) 2 月

記事：○壬申、朝集使還本任、命有司布饌、宴羣臣於庭、賜帛有差。
(『冊府』卷110・帝王部・宴享第二)

[12] 開元 7 年 (719) 3 月

記事：○壬辰、敕百官、三月三日宜准常式賜射。(『冊府』卷110)

[13] 開元 7 年 (719) 10 月

記事：○辛卯、至新豐之溫湯。癸卯、至自溫湯。(『舊』)

作品：(1)張說「宿直溫泉宮羽林獻詩」(卷88) 五排 (6韻)

[14] 開元 8 年 (720) 1 月

記事：○甲子朔、皇太子加元服。乙丑、皇太子謁太廟。丙寅、會百官於太極殿、賜物有差。(『舊』)

[15] 開元 8 年（720） 3 月

記事：○玄宗開元八年、親製春雪詩春臺望一章二十八句。（『冊府』卷40・帝王部・文學）

作品：(1)明皇帝「春臺望」（卷3）雜言古詩

(2)蘇頲「奉和聖製春臺望應制」（卷73） 雜言古詩

(3)許景先「奉和御製春臺望」（卷111） 雜言古詩

(4)賀知章「奉和御製春臺望」（卷112） 雜言古詩

[16] 開元 8 年（720） 10～11月

記事：○辛巳、幸長春宮。壬午、畋于下邳。十一月乙丑、至自長春宮。（『舊』）

[17] 開元 9 年（721） 1 月

記事：○丙辰、幸新豐之溫湯。（『舊』）○乙亥、至自溫湯。（『冊府』卷113）

[18] 開元 9 年（721） 3 月

記事：○戊午、宴朝集使、賜帛有差。（『冊府』卷110）

[19] 開元 9 年（721） 4 月

記事：○戊辰、御丹鳳樓宴、平胡節將王峻、郭知運、王智方、高崇、謝知信等四品以上清官及供奉官陪宴。（『冊府』卷110）

[20] 開元 9 年（721） 秋

記事：玄宗於興慶宮西南置樓、西面題曰花萼相輝之樓、南面題曰勤政務本之樓。玄宗時登樓、聞諸王音樂之聲、咸召登樓同榻宴謔、或便幸其第、賜金分帛、厚其歡賞。（『舊』卷95・讓皇帝憲傳）○宋王成器等請獻興慶坊宅為離宮。甲寅、制許之。始作興慶宮、仍各賜成器等宅、環於宮側。又於宮西南置樓、題其西曰花萼相輝之樓、南曰勤政務本之樓。上或登樓、聞王奏樂、則召升樓同宴、或幸其所居盡歡、賞賚優渥。（『通鑑』卷212・開元 2 年*）

作品：(1)明皇帝「遊興慶宮作 并序」（卷3） 五排（10韻）

(2)張說「奉和聖製暇日與兄弟同遊興慶宮作應制」（卷88）

五排（10韻）

※『通鑑』卷212に開元 2 年のこととするが、『唐五代文學編年史・盛唐

卷』開元9年9月の條には、『類編長安志』卷3に引く『唐實錄』に勤政樓が開元8年に作られたとあること、本年9月に張説が入朝したことなどから、ここに繫年すると言う。いまこれに従う。

[21] 開元9年(721)12月

記事：○乙酉、幸新豐之溫湯。壬午、至自溫湯。(『舊』)

[22] 開元10年(722)1月

記事：○乙巳、御含元殿宴羣臣、賜帛有差。(『冊府』卷110)

[23] 開元10年(722)1~2月

記事：○正月丁巳、幸東都。二月戊寅、至東都。(『舊』)

[24] 開元10年(722)閏5月

記事：○壬申、兵部尚書張説往朔方軍巡邊。(『舊』)○朝英集三卷。開元中、張孝嵩*出塞、張九齡、韓休、崔沔、王翰、胡皓、賀知章所撰送行歌詩。(『新唐書』卷60・藝文志)

- 作品：(1)明皇帝「送張説巡邊」(卷3) 五排(10韻)
(2)崔日用「奉和聖製送張説巡邊」(卷46) 五排(10韻)
(3)張九齡「奉和聖製送尚書燕國公赴朔方」(卷49) 五排(10韻)
(4)宋璟「奉和聖製送張説巡邊」(卷64) 五排(10韻)
(5)張説「將赴朔方軍應制」(卷88) 五排(10韻)
(6)崔泰之「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷91) 五排(10韻)
(7)源乾曜「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷107) 五排(10韻)
(8)徐堅「奉和聖製送張説巡邊」(卷107) 五排(10韻)
(9)胡皓「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷108) 五排(10韻)
(10)韓休「奉和聖製送張説巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(11)許景先「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(12)王丘「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(13)蘇晉「奉和聖製送張説巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(14)崔禹錫「奉和聖製送張説巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(15)張嘉貞「奉和聖製送張説巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(16)盧從愿「奉和聖製送張尚書巡邊」(卷111) 五排(10韻)
(17)王光庭「奉和聖製送張説巡邊」(卷111) 五排(10韻)

- | | |
|--------------------------|---------|
| (18)徐知仁「奉和聖製送張說巡邊」（卷111） | 五排（10韻） |
| (19)席豫「奉和聖製送張說巡邊」（卷111） | 五排（10韻） |
| (20)袁暉「奉和聖製送張尚書巡邊」（卷111） | 五排（10韻） |
| (21)賀知章「奉和聖製送張說巡邊」（卷112） | 五排（10韻） |
| (22)王翰「奉和聖製送張尚書巡邊」（卷156） | 五排（10韻） |

※傳琮璇「王翰考」（『唐代詩人叢考』中華書局、1980年所收）に、本來、張說のことであったものを宋人が張孝嵩と誤記したのではないかと指摘する（42～43頁）。

[25] 開元10年（722）10月

記事：○甲寅、幸壽安之故興泰宮。庚申、至自興泰宮。（『舊』）

[26] 開元11年（723）1～3月

記事：○庚辰、幸并州、潞州。（二月）辛卯、改并州爲大原府。戊申、次晉州。壬子、祠后土于汾陰之脰上。三月庚午、車駕至京師。（『舊』）
○十一年春正月己巳、車駕自東都北巡、庚辰、至潞州。辛卯、至并州、置北都。二月戊申、還至晉州。壬子、祭后土於汾陰。三月庚午、車駕至京師。（『通鑑』卷212・開元十一年）

- | | |
|----------------------------|--------|
| 作品：(1)明皇帝「早登太行山中言志」（卷39） | 五排（8韻） |
| (2)張九齡「奉和聖製早登太行山率爾言志」（卷49） | 五排（8韻） |
| (3)蘇頲「奉和聖製登太行山中言志應制」（卷74） | 五排（8韻） |
| (4)張說「奉和聖製太行山中言志應制」（卷88） | 五排（8韻） |
| (5)張嘉貞「奉和早登太行山中言志應制」（卷111） | 五排（8韻） |
| (6)苗晉卿「奉和聖製早登太行山中言志」（卷258） | 五排（8韻） |

[27] 同1月

- | | |
|------------------------|--------|
| 作品：(1)明皇帝「過王濬墓」（卷3） | 五排（6韻） |
| (2)張九齡「奉和聖製過王濬墓」（卷49） | 五排（6韻） |
| (3)張說「奉和聖製過王濬墓應制」（卷88） | 五排（6韻） |

[28] 同1月

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 作品：(1)明皇帝「爰因巡省途次舊居* 并序」（『張燕公集』卷3） | 五排（12韻） |
| (2)蘇頲「奉和聖製途次舊居應制」（卷74） | 五排（12韻） |

- (3)張說「奉和聖製爰因巡省途次舊居應制」(卷88) 五排 (12韻)
※『全唐詩』(卷3)に「巡省途次上黨舊宮賦」に作る。

[29] 同

- 作品：(1)明皇帝「過晉陽宮」(卷3) 五排 (12韻)
(2)張九齡「奉和聖製幸晉陽宮」(卷47) 五排 (12韻)
(3)蘇頲「奉和聖製過晉陽宮應制」(卷73) 五排 (12韻)
(4)張說「奉和聖製過晉陽宮應制」(卷86) 五排 (12韻)

[30] 同 2 月

記事：○開元天子登封泰山*、南出雀鼠谷。張說獻詩、明皇御答、羣臣應制。『唐詩紀事』卷十四・宋璟 ○扈從明皇、南出雀鼠谷。張說作詩、和章甚衆、皆不若王丘之作爲工。『韻語陽秋』卷13)

- 作品：(1)張說「扈從南出雀鼠谷」(卷88) 五排 (6韻)
(2)明皇帝「南出雀鼠谷答張說」(卷3) 五排 (6韻)
(3)張九齡「奉和聖製同二相南出雀鼠谷」(卷49) 五排 (6韻)
(4)宋璟「奉和聖製答張說扈從南出雀鼠谷」(卷64) 五排 (6韻)
(5)蘇頲「奉和聖製答張說出雀鼠谷」(卷74) 五排 (6韻)
(6)趙冬曦「奉和聖製答張說扈從南出雀鼠谷」(卷98) 五排 (6韻)
(7)王丘「奉和聖製答張說扈從南出鼠雀谷之作」(卷111) 五排 (6韻)
(8)袁暉「奉和聖製答張說扈從南出雀鼠谷之作」(卷111) 五排 (6韻)
(9)王光庭「奉和聖製答張說扈從南出雀鼠谷」(卷111) 五排 (6韻)
(10)席豫「奉和聖製答張說南出雀鼠谷」 五排 (6韻)
(11)崔翹「奉和聖製答張說南出雀鼠谷」(卷124) 五排 (6韻)
(12)梁升卿「奉和聖製答張說扈從南出雀鼠谷」(卷124) 五排 (6韻)
(13)徐安貞「奉和聖製答二相出雀鼠谷」(卷124) 五排 (6韻)

※『唐五代文學編年史・初盛唐卷』開元11年2月條には、『通鑑』(上述)の「二月戊申、還至晉州」と張說の詩句とが符合し、また、宋璟はこのとき長安に留まっており追和の作であろうとすることから、『唐詩紀事』に「登封泰山」(開元13年)のこととするのは、誤りであるとする。

[31] 同

- 作品：(1)明皇帝「登蒲州逍遙樓」(卷3) 五古 (6韻)
(2)蘇頲「奉和聖製登蒲州逍遙樓應制」(卷73) 五古 (6韻)

[32] 同

- 作品：(1)明皇帝「經河上公廟」（卷3） 五古（6韻）
(2)張九齡「奉和聖製經河上公廟」（卷49） 五古（6韻）
(3)蘇頲「奉和聖製經河上公廟應制」（卷74） 五古（6韻）
(4)張說「奉和聖製經河上公廟應制」（卷88） 五古（6韻）

[33] 同 3月

- 作品：(1)明皇帝「早度蒲津關」（卷3） 五排（6韻）
(2)張九齡「奉和聖製早渡蒲津關」（卷49） 五排（6韻）
(3)張說「奉和聖製度蒲關應制」（卷88） 五排（6韻）
(4)徐安貞「奉和聖製早度蒲津關」（卷124） 五排（6韻）
※宋璟「蒲津迎賀」（卷64） 五排（6韻）

[34] 同

- 作品：(1)明皇帝「初入秦川路逢寒食」（卷3） 七古（10韻）
(2)張說「奉和聖製初入秦川路寒食應制」（卷86） 七古（10韻）

[35] 同

- 作品：(1)明皇帝「潼關口號」（卷3） 五絕
(2)張九齡「奉和聖製度潼關口號」（卷49） 五絕
(3)蘇頲「奉和聖製過潼津關」（卷74） 五絕
(4)張說「奉和聖製潼關口號應制」（卷89） 五絕

[36] 開元11年（723）6月

- 記事：○六月、王峻赴朔方軍。（『舊』）
作品：(1)明皇帝「餞王峻巡邊」（卷3） 五排（10韻）
(2)張說「奉和聖製送王峻巡邊應制」（卷88） 五排（10韻）
※張九齡「餞王尚書出邊」（卷49） 五排（10韻）

[37] 開元11年（723）10月

- 記事：○丁酉、幸新豐之溫泉宮。甲寅、至自溫泉。（『舊』）。

[38] 開元11年（723）11月

- 記事：○是月、自京師至于山東、淮南大雪、平地三尺餘。（『舊』）

[39] 開元11年 (723) 12月

記事：○甲午、幸鳳泉湯。戊申、至自鳳泉湯。(『舊』)。

作品：(1)明皇帝「幸鳳泉湯」(卷3) 五排 (6韻)

(2)張說「奉和聖製幸鳳泉湯應制」(卷88) 五排 (6韻)

[40] 開元11年 (723)

記事：○開元十一年、麗正學士進詩、上嘉賞之、自燕公以下十八人、各賜贊以褒美之、敕曰…。(『玉海』卷31・唐開元十八學士贊)

[41] 開元11年 (723) 春

作品：(1)張說「恩制賜食於麗正殿書院宴賦得林字」(卷87) 五律

(2)王灣「麗正殿賜宴同勒天前煙年四韻應制」(卷115) 五律

(3)徐安貞「書殿賜宴應制」(卷124) 五律

[42] 開元12年 (724) 2月

作品：(1)張九齡「奉和聖製南郊禮畢酺宴」(卷49) 五排 (8韻)

[43] 開元12年 (724) 2月

作品：(1)明皇帝「同二相已下群官樂遊園宴」(卷3) 五排 (6韻)

(2)張九齡「恩賜樂遊園宴應制」(卷49) 五排 (6韻)

(3)張說「恩賜樂遊園宴」(卷88) 五排 (6韻)

(4)宋璟「奉和聖製同二相已下群官樂遊園宴」(卷64) 五排 (6韻)

(5)蘇頲「奉和恩賜樂遊園宴應制」(卷74) 五排 (6韻)

(6)趙冬曦「奉和聖製同二相已下群官樂遊園宴」(卷98) 五排 (6韻)

(7)崔沔「奉和聖製同二相已下群官樂游園宴」(卷108) 五排 (6韻)

(8)崔尚「奉和聖製同二相已下群臣樂游園宴」(卷108) 五排 (6韻)

(9)胡皓「奉和聖製同二相以下群官樂游園宴」(卷108) 五排 (6韻)

(10)王翰「奉和聖製同二相已下群官樂遊園宴」(卷156) 五排 (6韻)

[44] 開元12年 (724) 3月

記事：○庚午、宴朝集使于紫宸殿、賜帛有差。(『冊府』卷110)

[45] 開元12年 (724) 8月

記事：○宇文融除御使中丞、充諸色戶口輯使。(『唐會要』卷85)

作品：(1)張說「奉和聖製送宇文融安輯戶口應制」（卷86） 五排（8韻）

[46] 開元12年（724）11月

記事：○庚申、幸東都、至華陰、上制岳廟文、勒之于石、立于祠南之道周。戊寅、至自東都。（『舊』）

作品：(1)明皇帝「途經華嶽」（卷3） 五排（6韻）
(2)蘇頲「奉和聖製途經華嶽應制」（卷74） 五排（6韻）
(3)張說「奉和聖製途經華嶽應制」（卷88） 五排（6韻）
(4)張九齡「奉和聖製途經華山」（卷49） 五排（6韻）

[47] 同

作品：(1)明皇帝「途次陝州」（卷3） 五排（4韻）
(2)張說「奉和聖製途次陝州應制」（卷87） 五排（4韻）
(3)張九齡「奉和聖製途次陝州作」（卷48） 五排（4韻）

[48] 開元13年（725）2月

記事：○幸龍門、即日還宮。（『舊』）

[49] 開元13年（725）2月

記事：○上自選諸司長官有聲望者、大理卿源光裕、尚書左丞楊承令、兵部侍郎寇泚等十一人爲刺史、命宰相、諸王及諸司長官、臺郎、御史餞於洛濱、供張甚盛。賜以御膳、太常具樂、內坊歌妓。上自書十韻詩、命將軍高力士賜之。（『通鑑』卷212・開元十三年）

作品：(1)明皇帝「賜諸州刺史以題座右」（卷3） 五排（10韻）
(2)張九齡「奉和聖製賜諸州刺史以題座右」（卷47） 五排（10韻）
(3)張說「奉和聖製賜諸州刺史應制以題座右」（卷86） 五排（10韻）

[50] 開元13年（725）3月

記事：朕以薄德、祇膺曆數。…同吟湛露之篇、宜振凌雲之藻、於時歲在乙丑。開元十三年三月二十七日。（明皇帝「春晚宴兩相及禮官麗正殿學士探得風字序」）○十三年三月、因奏封禪儀注、勅學士等賜宴於集仙殿、上制詩序、羣臣賦詩、上于坐上口詔改爲集賢殿。時預宴者、宰臣源侍中乾曜…。（『職官分紀』卷15・酒酣賦詩）

作品：(1)明皇帝「春晚宴兩相及禮官麗正殿學士探得風字 并序」（卷3）

五排 (6韻)

(2)張說「春晚侍宴麗正殿探得開字」(卷88)

五排 (6韻)

[51] 開元13年 (725) 4月

記事：○十三年、玄宗尋召說及禮官學士等賜宴於集仙殿、謂說曰「今與卿等賢才同宴於此、宜改名為集賢殿」。因下制改麗正書院為集賢殿書院、授說集賢院學士、知院事。(『舊』卷97・張說傳) ○丁巳、改集仙殿為集賢殿、麗正殿書院改集賢殿書院。(『舊』) ○十三年四月五日、因奏封禪儀注、敕中書門下及禮官學士等賜宴于集仙殿、上曰「今與卿等賢才同宴于此、宜改集仙殿麗正書院為集賢院」。中書令張說充學士、知院事。(『唐會要』卷64・集賢院)

作品：(1)明皇帝「集賢書院成送張說上集賢學士賜宴得珍字」(卷3)

五排 (6韻)

(2)蘇頲「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴得茲字」(卷74)

五排 (6韻)

(3)張說「赴集賢院學士上賜宴應制得輝字」(卷88)

五排 (6韻)

(4)趙冬曦「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得蓮字」(卷98)

五排 (6韻)

(5)源乾曜「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴 賦得迎字」(卷107)

五排 (6韻)

(6)徐堅「奉和聖製送張說赴集賢院學士賜宴賦得虛字」(卷107)

五排 (6韻)

(7)李元紘「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得斯字」(卷108)

五排 (6韻)

(8)裴灌「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得昇字」(卷108)

五排 (6韻)

(9)劉昇「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得賓字」(卷108)

五排 (6韻)

(10)蕭嵩「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得登字」(卷108)

五排 (6韻)

(11)韋抗「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得西字」(卷108)

五排 (6韻)

(12)李暹「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得催字」(卷108)

五排 (6韻)

- (13)韋述「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得華字」（卷108）
五排（6韻）
- (14)陸堅「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得今字」（卷108）
五排（6韻）
- (15)程行謨「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得迴字」（卷108）
五排（6韻）
- (16)褚琇「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴 賦得風字」（卷108）
五排（6韻）
- (17)賀知章「奉和聖製送張說上集賢學士賜宴賦得謨字」（卷112）
五排（6韻）
- ※張九齡「集賢殿書院奉敕送學士張說上賜燕序」（『曲江集』卷16）

[52] 開元13年（725）10月

記事：○辛酉、東封泰山、發自東都。（『舊』）

- 作品：(1)明皇帝「行次成皋途經先聖擒建德之所緬思功業感而賦詩」（卷3）
五古（6韻）
- (2)張九齡「奉和聖製次成皋先聖擒建德之所」（卷47） 五古（6韻）
- (3)蘇頲「奉和聖製行次成皋途經先聖擒建德之所感而成詩應制」（卷73）
五古（6韻）
- (4)張說「奉和聖製行次成皋應制」（卷86） 五古（6韻）

[53] 同

- 作品：(1)明皇帝「喜雪」（卷3） 五排（6韻）
- (2)張說「奉和聖製喜雪應制」（卷88） 五排（6韻）

[54] 同11月

記事：○丙戌、至兗州岱宗嶽。丁亥、致齋於行宮。庚寅、祀昊天上帝於上壇、有司祀五帝百神于下壇。辛卯、祀皇地祇於社首。壬辰、御帳殿受朝賀。封泰山神爲天齊王、禮秩加三公一等、近山十里、禁其樵採。賜酺七日。甲午、發岱嶽。（『舊』）○十三年十一月丙戌、至泰山。玄宗製『紀太山銘』、御書勒于山頂石壁之上。中書令張說撰『封祀壇頌』、侍中源乾曜撰『社首壇頌』、禮部尚書蘇頲撰『朝覲壇頌以紀德』。（『舊』卷23・儀禮三・封禪）

[55] 同11月

記事：○丙申、幸孔子宅、親設奠祭。(『舊』)

- 作品：(1)明皇帝「經鄒魯祭孔子而歎之」(卷3) 五古 (4韻)
(2)張九齡「奉和聖製經孔子舊宅」(卷48) 五古 (4韻)
(3)張說「奉和聖製經鄒魯祭孔子應制」(卷87) 五古 (4韻)

[56] 同12月

記事：○己巳、至東都。(『舊』)

- 作品：(1)張九齡「奉和聖製登封禮畢洛城酺宴」(卷49) 五排 (6韻)
(2)蘇頲「廣達樓下夜侍酺宴應制」(卷73) 七律

[57] 開元14年 (726) 1月

記事：○復代盧從愿爲工部尚書、定州刺史、知北平軍事、累封河東侯。將行、上自賦詩、詔百僚於上東門外餞之。(『舊』卷99·張嘉貞傳)
○「宵旰」、天子送冬卿之詩也。…于時春帶餘寒、野銜殘雪、太官重味、御酒百壺、供帳臨岐、假絲竹以留宴、傾城出餞、會文章以寵行。…應制華篇、凡若干首。(『送工部尚書弟赴定州詩序』、『張燕公集』卷16)

[58] 開元14年 (726) 10月

記事：○庚申、幸汝州廣成湯。己巳、還東都。(『舊』) ○十四年十月庚申、幸汝州之溫湯。辛酉、至溫湯之行宮。時屬雨雪、帝親賦喜雪詩、以示羣臣。(『冊府』卷113) ○令狐峴『代宗實錄』云「上以開元十四年十月十三日生、時玄宗幸汝州之溫湯、有望氣者云、宮中有天子氣、玄宗即日還宮、是夜代宗降誕」。(『通鑑』卷213引考異)

- 作品：(1)明皇帝「溫湯對雪」(卷86) 五古 (4韻)
(2)張說「奉和聖製溫湯對雪應制」(卷86) 五律

[59] 開元14年 (726) 11月

記事：○開元十四年十一月己丑、幸寧王憲宅。與諸王宴、探韻賦詩。(『玉海』卷29)

- 作品：(1)明皇帝「過大哥宅探得歌字韻」(卷3) 五古 (4韻)
(2)張說「奉和聖製過寧王宅應制」(卷87) 五律

[60] 開元14年（726）12月

記事：○丁巳、幸壽安之方秀川。壬戌、還東都。（『舊』）

作品：(1)張說「行從方秀川與劉評事文同宿」（卷86） 五排（10韻）

[61] 開元15年（727）5月

記事：○十五年五日丁丑、是日端午、宴羣臣于武成殿、各賜衣一襲、帝親自賦詩曰…。（『冊府』卷110）○十五年五月丁丑、端午宴羣臣于武成殿、有忠正貽後昆之句、各賜衣一副、自賦詩（『玉海』卷29）

作品：(1)明皇帝「端午」（卷3） 五排（6韻）

(2)儲光羲「大酺得長字韻」（卷139） 五排（6韻）

[62] 開元15年（727）6月

記事：○六月、朔方節度兵〔部尚〕書蕭嵩、赴朔方軍、命有司於定鼎門外供帳置酒送之。帝賦詩以寵之。（『玉海』卷29）

[63] 開元15年（727）閏9月～10月

記事：○庚申、車駕發東都、還京師。冬十月己卯、至自東都。（『舊』）

作品：(1)張九齡「奉和聖製溫泉歌」（卷47） 雜言古詩

[64] 開元15年（727）11月

記事：○庚子、御含元殿宴羣臣。（『冊府』卷110）

[65] 開元15年（727）11月

記事：○十一月丙寅、幸寧王憲之第。（『冊府』卷113）

[66] 開元15年（727）12月

記事：○十二月乙亥、幸溫泉宮。丙戌、至自溫泉宮。（『舊』）○十二月幸溫泉宮、登驪山石龕寺賦詩、俾羣臣和。（『玉海』卷29）

[67] 開元16年（728）5月

記事：○唐玄宗喜雨賦。賈登賦十有六年。（『玉海』卷31）

作品：(1)玄宗「喜雨賦」、(2)張說、(3)韓休、(4)徐安貞、(5)賈登、(6)李宙「奉和聖製喜雨賦」（『文苑英華』卷14）

[68] 開元16年 (728) 10月

記事：○己卯、幸溫泉宮。己丑、至自溫泉宮。(『舊』)

[69] 開元16年 (728) 11月

記事：○丙午、御含元殿宴羣臣。(『冊府』卷110)

[70] 開元16年 (728) 12月

記事：○十二月戊申、幸寧王第留宿。(『冊府』卷113)

[71] 開元16年 (728) 12月

記事：○丁卯、幸溫泉宮。丁丑、至自溫泉宮*。(『舊』)

※『通鑑』卷213に引く考異に「實錄『十二月丁卯』、又云『幸溫泉宮』。不言其還。唐曆『卯幸溫泉、丁丑還宮』。按此月已幸溫泉宮、恐重複、不取」とある。

[72] 開元17年 (729) 8月

記事：○癸亥、上以降誕日、讌百僚于花萼樓下。百僚表請以每年八月五日爲千秋節。王公已下獻鏡及承露囊、天下諸州咸令讌樂、休暇三日、仍編爲令、從之。(『舊』) ○開元十七年八月五日、左丞相源乾曜、右丞相張說等上表、請以是日爲千秋節*。(『唐會要』卷29)

作品：(1)明皇帝「千秋節宴 并序」(卷3) 五排 (8韻)
(2)張說「奉和聖製千秋節宴應制」(卷88) 五排 (8韻)

※顧況「八月五日歌」(卷265)に「開元九年燕公說、奉詔聽置千秋節」とある。

[73] 開元17年 (729) 9月

記事：○十七年、遷尚書右丞相、與張說、源乾曜同日拜官。敕太官設饌、太常奏樂、於尚書都省大會百僚。玄宗賦詩褒述、自寫與之。(『舊』卷96・宋璟傳)

作品：(1)明皇帝「左丞相說右丞相璟太子少傅乾曜同日上官命宴東堂賜詩」(卷3) 五古 (8韻)
(2)宋璟「奉和御製璟與張說源乾曜同日上官命宴都堂賜詩應制」(卷64) 五排 (8韻)
(3)張說「奉和御製與宋璟源乾曜同日上官命宴東堂賜詩應制」(卷88)

五排（8韻）

(4)源乾曜「奉和御製乾曜與張說宋璟同日上官命宴都堂賜詩」（卷107）

五排（8韻）

(5)蕭嵩「奉和御製左丞相說右丞相璟太子少傅乾曜同日上官命宴都堂賜詩」（卷108）

五排（8韻）

(6)裴光庭「奉和御製左丞相說右丞相璟太子少傅乾曜同日上官命宴都堂賜詩」（卷108）

五排（8韻）

(7)宇文融「奉和聖製左丞相說右丞相璟太子少傅乾曜同日上官命宴都堂賜詩」（卷108）

五排（8韻）

※蘇晉「丞相少傅拜職天子作三傑之詩以命宴序」（『張燕公集』卷4）

[74] 開元17年（729）12月

記事：○十二月辛酉、幸溫泉宮。乙丑、校獵渭濱。壬申、至自溫泉宮。
（『舊』）

[75] 開元18年（730）2月

作品：(1)明皇帝「春中興慶宮酺宴 并序」（卷3） 五排（8韻）
(2)張說「奉和聖製春中興慶宮酺宴應制」（卷88） 五排（8韻）

[76] 開元18年（730）3月

記事：○是春、命侍臣及百僚每旬暇日尋勝地讌樂、仍賜錢、令所司供帳造食。（『舊』）

作品：(1)張說「三月三日詔宴定昆池宮莊賦得筵字」（卷87） 七律
(2)張說「三月三日定昆池奉和蕭令得潭字韻」（卷89） 七絕
※孫逖「宰相及官定昆明池旬宴序」（『文苑英華』卷710）

[77] 開元18年（730）4月

記事：○丁卯、侍臣已下讌于春明門外寧王憲之園池、上御花萼樓邀其迴騎、便令坐飲、遞起爲舞、頒賜有差。（『舊』）

作品：(1)明皇帝「首夏花萼樓觀群臣宴寧王山亭回樓下又申之以賞樂賦詩并序」（卷3） 五排（6韻）
(2)張說「奉和聖製花萼樓下宴應制」（卷88） 五排（6韻）
(3)張說「四月十三日詔宴寧王亭子賦得好字」（卷86） 五律

[78] 開元18年 (730) 5月

記事：○…凡百在會、咸可賦詩。五言紀其日端、七韻成其火數。豈獨漢武之殿、盛朝士之連章。魏文之臺、壯辭人之竝作。(明皇帝「端午三殿宴群臣序」)

作品：(1)明皇帝「端午三殿宴群臣探得神字 并序」(卷3) 五排 (7韻)
(2)張說「端午三殿侍宴應制探得魚字」(卷88) 五排 (7韻)

[79] 開元18年 (730) 閏6月

作品：(1)王昌齡「夏月花萼樓酺宴應制」(卷42) 五排 (8韻)

[80] 開元18年 (730) 7月

記事：○庚辰、幸寧王憲第、即日還宮。(『舊』)

[81] 開元18年 (730) 8月

記事：○丁亥、上御花萼樓、以千秋節百官獻賀、賜四品已上金鏡、珠囊、縑綵、賜五品已下束帛有差。上賦八韻詩、又制秋景詩。(『舊』)

作品：(1)明皇帝「千秋節賜群臣鏡」(卷3) 五律
(2)張說「奉和賜王公千秋鏡應制」(『張燕公集』卷2) 五律

[82] 開元18年 (730) 8月

記事：○辛亥、幸永穆公主宅、即日還宮。(『舊』)

[83] 開元18年 (730) 10月

記事：○庚寅、幸岐州之鳳泉湯。癸卯、至自鳳泉湯。(『舊』)

[84] 開元18年 (730) 11月

記事：○丁卯、幸新豐溫泉宮。(『舊』)

[85] 開元19年 (731) 2月

記事：○丁亥、詔曰「百靈降福、庶君叶心。…中書門下及供奉官、…至春末以來、每置暇日、宜准去年正月二十九日、敕賜錢造食、任逐勝賞。二十年二月壬辰、許百寮於城東亭子尋勝、因置檢校尋勝、以厚其事文」。(『冊府』卷110)

[86] 開元19年（731）10～11月

記事：○丙申、幸東都。十一月丙辰、至自東都。（『舊』）

[87] 開元20年（732）1月

記事：○丁巳、幸長芬公主宅。乙丑、幸薛王業宅。竝即日還宮。（『舊』）

[88] 開元20年（732）4月

記事：○乙亥、讌百僚於上陽東州、醉者賜以牀褥、肩輿而歸、相屬於路。
（『舊』）

作品：(1)張九齡「上陽水窗旬宴得移字韻」（卷48） 五律
(2)孫逖「奉和四月三日上陽水窗賜宴應制得春字」（卷118） 五律

[89] 開元20年（732）5月

記事：○丁卯、召河北立功將士於朝堂謂之曰「天地無遠、四夷奔走而來庭、…且宜坐食、兼賜卿等少物食、訖領取」。（『冊府』卷110）

[90] 開元20年（732）7月

記事：○戊辰、幸寧王憲宅、即日還宮。（『舊』）

[91] 開元20年（732）10～12月

記事：○冬十月丙戌、命巡幸所至、有賢才未聞達者舉之。辛卯、至潞州之飛龍宮。辛丑、至北都。十一月庚午、祀后土於臚上。十二月壬申、至京師。（『舊』）

[92] 開元21年（733）1月

記事：○丁巳、幸溫泉宮。癸亥、至自溫泉宮。（『舊』）

[93] 開元21年（733）8月

記事：○詔曰、「大射展禮、先王創儀。…以今年九月九日賜射於安福門樓下、時京官五品以上、乃預其會」。（『冊府』卷110）

[94] 開元21年（733）10月

記事：○庚戌、幸溫泉宮。（『舊』）○己未、還京。（『冊府』卷113）

[95] 開元22年 (734) 1月

記事：○己巳、幸東都。己丑、至東都。(『舊』)

[96] 開元22年 (734) 2月

記事：○開元二十二年二月十九日、初置十道採訪處置使、以御史中丞盧絢等爲之、至三月二十三日。諸道採訪處置使・華州刺史李尚隱等奏、請各使置印、許之。(『唐會要』卷78)

作品：(1)張九齡「奉和聖製送十道採訪使及朝集使」(卷47) 五古 (8韻)

[97] 開元23年 (735) 2月

記事：○二十三年春、〔張〕守珪詣東都獻捷、會籍田禮畢酺宴、便爲守珪飲至之禮、上賦詩以褒美之。(『舊』)

[98] 開元23年 (735) 7月

記事：○戊寅、以籍田禮畢、大置酒於應天門、以會百官。(『冊府』卷110)

[99] 開元23年 (735) 8月

記事：○八月癸巳千秋節、命諸學士及僧道講論三教同。(『冊府』卷37・帝王部・頌德)

[100] 開元23年 (735) 9月

記事：○辛巳、宴朝集使於朝堂、賜物有差。(『冊府』卷110)

[101] 開元24年 (736) 2月

記事：○甲寅、宴新授縣令於朝堂。(『冊府』卷110)

[102] 開元24年 (736) 8月

記事：○秋八月壬子、千秋節、群臣皆獻寶鏡。張九齡以爲以鏡自照見形容、以人自照見吉凶。乃述前世興廢之源、爲書五卷、謂之千秋金鏡錄、上之。上賜書褒美。(『通鑑』卷214・開元二十四年)

作品：※張九齡「進千秋節金鏡錄表」(『曲江集』卷13)

[103] 開元24年 (736) 10月

記事：○戊申、車駕發東都、還西京。(『舊』)

- 作品：(1)張九齡「奉和聖製謁玄元皇帝廟齋」（卷47） 五古（10韻）
(2)張九齡「奉和聖製初出洛城」（卷48） 五律

[104] 同10月

記事：○甲子、至華州。丁丑、至自東都。（『舊』）

- 作品：(1)張九齡「奉和聖製次瓊嶽韻」（卷48） 五律
(2)李林甫「奉和聖製次瓊岳應制」（卷121） 五律
(3)韋濟「奉和聖製次瓊嶽應制」（卷255） 五律

[105] 開元25年（737） 1月

記事：○壬午、制「朕猥集休運、多謝哲王。…百司每旬節休假、竝不須入曹司、任遊勝爲樂。宣示中外、知朕意焉。」（『舊』）○壬午、制曰、「百司每旬節休假、竝不須親職事、任追勝爲樂、宣示中外知朕意焉。」
己丑、以望日命有司於勤政樓前樹燈、宴羣臣於樓下。（『冊府』卷110）

[106] 開元25年（737） 8月

記事：○丁未、千秋節宴羣臣於勤政樓下。（『冊府』卷110）

[107] 開元25年（737） 11月

記事：○壬申、幸溫泉宮。（『舊』）○乙酉、至自溫泉宮。（『冊府』卷113）

[108] 開元25年（737） 12月

記事：戊午、幸寧王宅。（『冊府』卷113）

[109] 開元26年（738） 3月

記事：○庚寅、幸咸宜公主宅。（『舊』）

[110] 開元26年（738） 3月

記事：○己巳、賜朝集使五品以上錢三十萬、任追勝爲樂。（『冊府』卷110）

[111] 開元26年（738） 10月

記事：○戊寅、幸溫泉宮。（『舊』）○庚辰、至自溫泉宮。（『冊府』卷113）

作品：(1)盧僊「奉和李令扈從溫泉宮賜遊驪山韋侍郎別業」（卷99）

五古（4韻）

[112] 開元26年(738) 10月

記事：○庚戌、停朝參、命百官於尚書省宴朝集使。(『冊府』卷110)

[113] 開元27年(739) 2月

記事：○己巳、羣臣上尊號曰開元聖文神武皇帝。賜文武官階爵、賜民酺五日。(『舊』)

[114] 開元27年(739) 10月

記事：○戊戌、幸溫泉宮。辛丑、至自溫泉宮。(『舊』)

[115] 開元28年(740) 1月

記事：○癸巳、幸溫泉宮。庚子、至自溫泉宮。(『舊』)

[116] 開元28年(740) 1月

記事：○壬寅、以望日御勤政樓讌群臣、連夜燒燈、會大雪而罷、因命自今常以二月望日夜爲之。(『舊』)

[117] 開元28年(740) 10月

記事：○甲子、幸溫泉宮。辛巳、至自溫泉宮。(『舊』)

[118] 開元29年(741) 1月

記事：○二十九年正月癸巳、幸溫泉宮。庚子、至自溫泉宮。(『新唐書』卷5・玄宗本紀)

[119] 開元29年(741) 2月

記事：○親王已下及內外官各賜錢令讌樂。壬午、以左右金吾大將軍裴寬爲太原尹北都留守。(『舊』) ○改左金吾衛大將軍、一年、除太原尹、賜紫金魚袋。玄宗賦詩而餞之、曰「德比岱雲布、心如晉水清」。(『舊』卷100・裴寬傳)

[120] 開元29年(741) 10~11月

記事：○冬十月丙申、幸溫泉宮。(十一月)辛酉、至自溫泉宮。(『舊』)

[121] 天寶元年(742) 1月

記事：○甲寅、命有司宴女國王及佛遊國于曲江、令宰臣以下同宴。（『冊府』卷110）

[122] 天寶元年（742）3月

作品：(1)王維「三月三日曲江侍宴應制」（卷127） 五排（6韻）

[123] 天寶元年（742）3月

作品：(1)李愷「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（卷115） 七律
(2)王維「奉和聖製從蓬萊向興慶閣道中留春雨中春望之作應制」（卷128） 七律

[124] 天寶元年（742）10～11月

記事：○冬十月丁酉、幸溫泉宮。十一月己巳、至自溫泉宮。（『舊』）
作品：(1)孫逖「奉和登會昌山應制」（卷118） 五律
(2)錢起「奉和聖製登會昌山應制」（卷237） 五律

[125] 天寶2年（743）3月

記事：○韋堅開廣運潭畢功、盛陳舟艦。丙寅、上幸廣運樓以觀之、即日還宮。（『舊』）

[126] 天寶2年（743）10～11月

記事：○（十月）戊寅、幸溫泉宮。十一月乙卯、至自溫泉宮。（『舊』）

[127] 天寶2年（743）12月

記事：○戊申、幸溫泉宮。丙辰、至自溫泉宮*。（『舊』）

※『通鑑』215に引く考異に「舊紀『十月戊寅、幸溫泉宮。十一月乙卯、還宮』、與實錄同。『十二月戊申、又幸溫泉宮。丙辰、還宮』、實錄無。按十二月丙寅朔、無戊申、丙辰。唐曆『十一月戊申、幸溫泉宮。丙辰、還宮』、又唐曆本紀不同、今皆不取」とある。

[128] 天寶3載（744）1月

記事：○庚子、遣左右相已下祖別賀知章於長樂坡、上賦詩贈之。（『舊』）
○天寶三年、太子賓客賀知章、鑒止足之分、抗歸老之疏。…正月

五日、將歸會稽、逐餞東路。…獨光漢冊、乃賦詩贈行。(明皇帝「送賀知章歸四明序」)

作品：(1)明皇帝「送賀知章歸四明 并序」(卷3) 五律

唐明皇「送賀祕監歸會稽序 并詩」、(2)李適之、(3)李林甫、(4)嗣許王瓘、(5)褒信郡王璆、(6)席豫、(7)宋鼎、(8)郭虛已、(9)李巖、(10)韋斌、(11)李愼微*、(12)韋堅、(13)齊澣、(14)崔璘、(15)梁涉、(16)王濬、(17)王瑀、(18)姚鵠*、(19)王鐸*、(20)何千里、(21)嚴都*、(22)嚴向、(23)康珽、(24)韓宗、(25)郭愼微、(26)于休烈、(27)齊光乂、(28)韋述、(29)韓倩、(30)杜昆吾、(31)張綽、(32)陸善經、(33)胡嘉鄩、(34)魏盈、(35)李彥和、(36)張博望、(37)辛替否「送賀祕監歸會稽」、(38)盧象「送賀祕監歸會稽歌 并序」(「紫陽真人歌」)(『會稽掇英總集』卷2)

(39)李白「送賀監歸四明應制」(卷176) 七律

※姚鵠は『全唐詩』卷553に「送賀知章入道」(七律)に作る。なお、姚鵠は會昌3年(843)、王鐸は會昌初、李愼微は天祐元年(904)の進士であり、嚴都は咸通年間(860~874)の人。陳尙君『全唐詩補編・續拾』卷12は、王・元・李の3首を晚唐人の擬作とする(824頁)。

[129] 天寶3載(744) 1~2月

記事：○壬寅、幸溫泉宮。二月己巳、還京。(『舊』)

[130] 天寶3載(744) 3月

記事：○敕中書門下及兩省五品以上、并三品以下正員、長官、諸司侍郎、御史中丞、於鴻臚亭子祖餞朝集使及范陽節度使安祿山。(『冊府』卷110)

[131] 天寶3載(744) 10~11月

記事：○癸巳、幸溫泉宮。十一月癸卯、還京。(『舊』) ○玄宗幸溫泉宮、登朝元閣賦詩、群臣屬和、帝以豫詩爲工、手制褒美曰「覽卿所進、實詩人之首出、作者之冠冕也」。(『舊』卷150、席豫傳)

[132] 天寶3載(744) 10~11月

作品：(1)王維「奉和聖製送不蒙*都護兼鴻臚卿歸安西應制」(卷125)

五古(6韻)

※「不蒙」は「夫蒙靈簪」のこと。『舊』卷104・高仙芝傳、及び封常清

傳にその名が見える。

[133] 天寶 4 載 (745) 1 月

記事：○敕今月十四十五十六日、宜令中書門下及兩省供奉官諸司文官四品以上郎官、御史、節度、採訪使等、竝於花萼樓下宴。〔『冊府』卷110〕

[134] 天寶 4 載 (745) 3 月

記事：○甲申、宴群臣於勤政樓。〔『舊』〕

[135] 天寶 4 載 (745) 10～12 月

記事：○丁酉、幸溫泉宮。十二月戊戌、還京。〔『舊』〕

[136] 天寶 5 載 (746) 1 月

記事：○敕今月十四十五十六日、宜令中書門下及兩省供奉官文官四品以上、武官三品以上正員、竝御史中丞、…節度使竝於花萼樓下參宴、不須入朝。〔『冊府』卷110〕

[137] 天寶 5 載 (746) 10～11 月

記事：○冬十月丁酉、幸溫泉宮。十一月己巳、還京。〔『舊』〕

[138] 天寶 6 載 (747) 9 月

作品：(1)玄宗「詩送玄靜先生赴金壇」〔『全唐詩補編・續拾』卷14〕

五律（10韻）

[139] 天寶 6 載 (747) 10～12 月

記事：○冬十月戊申、幸溫泉宮、改爲華清宮。（十二月）壬戌、還京。〔『舊』〕

[140] 天寶 7 載 (748) 10 月

記事：○冬十月庚午、幸華清宮。十二月戊戌、言玄元皇帝見于華清宮之朝元閣、乃改爲降聖閣。辛酉、還京。〔『舊』〕○十月乙丑、御朝元閣。有慶雲見、上賦詩、羣臣畢和。〔『冊府』卷24・帝王部符瑞第三〕

作品：(1)錢起「奉和聖制登朝元閣*」〔卷238〕

五古（8韻）

※『唐五代文學編年史・初盛唐卷』に、このとき錢起は未だ科擧に及第しないことから、應制の作ではないとする。

[141] 天寶8載(749)10月～天寶9載(750)1月

記事：○冬十月丙寅、幸溫泉宮。十一月丁巳、幸御史中丞楊釗莊。九載春正月庚寅朔、與歲次同始、受朝於華清宮。己亥、還京。(『舊』)

[142] 天寶9載(750)11～12月

記事：○庚寅、幸華清宮。辛卯、幸楊國忠亭子。十二月乙亥、還京。(『舊』)

[143] 天寶10載(751)1月

記事：○詔曰「百辟叶心、交修皇極。…自今後、非惟旬休及節假、百官等曹務無事之後、任追遊宴樂」。(『冊府』卷110)

[144] 天寶10載(751)9月

記事：○先生姓李氏、諱含光、廣陵江都人。…(天寶九載)是歲冬、又徵先生、於紫陽別院館之。十載秋、先生又懇辭告老、禦制序詩以餞之」。(顏真卿『有唐茅山元靖先生廣陵李君碑銘 竝序』、『全唐文』卷340)

作品：(1)玄宗「詩送玄靜先生暫還廣陵」(『全唐詩補編・續拾』卷14)

五古(4韻)

(2)玄宗「詩送玄靜先生歸廣陵」(『全唐詩補編・續拾』卷14)

五律

[145] 天寶10載(751)10月～天寶11載(751)1月

記事：○冬十月辛亥、幸華清宮。乙未、幸楊國忠宅。十一載春正月辛亥、還京。(『舊』)

[146] 天寶11載(752)10～12月

記事：○冬十月戊寅、幸華清宮。(十二月)己亥、還京。(『舊』)

[147] 天寶12載(753)春

記事：○十二年春、有詔補尚書十數公爲郡守。上親賦詩觴群公、宴于蓬

萊前殿、仍贈以繒帛、寵餞加等。參美顏公是行、爲寵別章句。（卷198・岑參「送顏平原序」）

[148] 天寶12載（753）10月～13載（753）1月

記事：○冬十月戊申、幸華清宮。十三載春正月丁酉朔、上御華清宮之觀風樓、受朝賀。丙午、還京。（『舊』）

[149] 天寶13載（754）3月

記事：○丙午、御躍龍殿門張樂宴群臣、賜右相絹一千五百疋、…極歡而罷。壬戌、御勤政樓大酺。（『舊』）

[150] 天寶13載（754）10月

記事：○壬寅、幸華清宮。戊午、還京。（『舊』）

[151] 天寶14載（755）3月

記事：○丙寅、宴群臣於勤政樓、奏九部樂、上賦詩效柏梁體。（『舊』）

[152] 天寶14載（755）8月

記事：○辛卯、天長節、御勤政樓宴羣臣。（『冊府』卷110）

[153] 天寶14載（755）10月

記事：○壬辰、幸華清宮。丙子、至自華清宮。（『舊』）○十月庚寅、幸華清宮。十一月甲子、安祿山稱兵向闕。庚午、以其事聞於行在。丙子、還宮。（『冊府』卷114・帝王部・巡幸第三）